

発行所
真宗大谷派宗務所
代表者 木越 渉
編集/東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189(東本願寺出版)

購読料 無料
送料 1部1カ年1,300円
(1,182円+税10%)※部数により変動
振替口座番号 01000-6-27404
加入者名 東本願寺出版部

東本願寺公式YouTubeにて
真宗本願報恩講の一部
ライブ配信します。



東本願寺 報恩講 検索

どうぼうしんぶん

同朋新聞

Dōbō Shimbun

11

Vol. 804
November 2024



真宗本廟
報恩講が勤まります

今月の写真

真宗本廟では11月21日から28日まで報恩講が勤まります。報恩講に向け、参拝者をお迎えするため、さまざまな準備が行われます。両堂の紫幕や門前の提灯台などの荘厳は、お揃いの法被を身につけた七日講と呼ばれる、大工や左官などの作事に携わる職人で構成されたお講組織の方々により設置されます。

今月の法話 如是我聞

闇を生きる

東北教区浜組明賢寺
藤内 明子(73)

光がいたり
闇が生まれる

何をしてもしなくても
私が

ここに在るということ

浄土真宗の聖典には、光という文字が数多く使われています。光とは、仏の智慧をあらわす言葉であり、私たちを自覚めさせるはたらきとして表現されます。一方、闇とは、私たちの愚かさであり、心の奥底に淀む迷いの深さ。またその世界と言えるでしょう。

最澄に、一隅を照らすという教えがあります。如何なる世界を生きようと、そこを自らの生活の場とし、あなた自身が光り輝き周りを照らす者となりなさいということでしょう。とはいえ、周りの人や世界を照らすなど、私には到底及びもつけないことです。しかし、発光体としてではなく、被照体としての自身を見出すことはできます。

教えに照らされ、あがきながらも自身と向き合い、此処を生きる。それは、照らされることよって光り輝く私ではありません。むしろ照らされることで自らの抱える影と闇に気づかされ、それらを恐れることもごまかすこともなく生きていける私を賜わるのです。

照らされるというのは、教えに聞く、聞法のほかにありません。

CONTENTS

2・3面

人間といういのちの相

社会の中で

「子ども」は育つ

武田 信子さん



4・5面

真宗本廟
報恩講の
ご案内



6面

ひかりを伝えたひと

—七高僧と聖徳太子 第11回

この紙面では、さまざまな人とおして、現代社会の抱える課題や人間そのものについて考え、宗祖御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」、慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」の学びを深めていきたいと思ひます。

人間のいのちの相



社会の中で「子ども」は育つ

インタビュー
武田信子さん

2023年の日本の出生数は72・7万人。出生数が最も多かった1949年の269万人から考えると200万人近く減少しています。子どもの数が減少している中、子どもが育つ環境も大きく変化しています。子どもの養育環境の改善に取り組む武田信子さんのお話から人間の相を考えます。



一般社団法人ジェイス代表理事。東京学芸大学研究員。臨床心理学、教師教育学を専門とし、長年、子どもの養育環境の改善に取り組む。著書に『やりすぎ教育』(ポプラ新書)など。

なぜ親がこんなに苦しむ社会なのか？

武田さんが教育という課題に取り組みたいきっかけを教えてください。

私は愛知県出身で、最初は名古屋の小学校に通いました。その頃は学校という場所が好きで、学校の先生になりたいと思っていました。ところが、小学4年生の時に東京の小学校に転校すると、その学校にはクラスに暴力を振るう子どもがいました。私は学級委員だったので、そのつど先生に報告したのですが、教員は誰も動いてくれませんでした。その上、担任の先生は道徳の時間に、その暴力を振るう男の子のことを「統率力がある」と褒めました。

翌年クラスが替わっても、次の担任の先生が同じようなことを言ったので、堪忍袋の緒が切れてしまつて、警察の少年相談室の助言で、隣の区の学校に転校しました。

転校先の学校はとてもよい環境で、楽しく学校生活を送ることができたのですが、先の学校での経験から、学校という場とそこにいる大人たちを必ずしも信用できなくなつてしまいました。そして、そのような学校を変えられる大人になりたいと思ひました。

また、私自身も育ちの中でしんどい思いをしてきましたが、それは親だけが悪いわけではないと子ども心に思ひました。幼い頃から母にいろいろな話を聞かされ、その背景に社会の問題があると感じ、その社会のあり方そのものを問うていかなければならないと思ひました。

武田さんは「エデュケーショナル・マルトリートメント」という問題に取り組みしていますが、これはどういったことでしょうか。

最近の子どもの悪影響を及ぼす親のことを「毒親」とも言われますが、そういった悪影響を及ぼす行為や価値観は、この社会の中で生まれているのです。親はそれぞれの価値観の中で精いっぱい子育てをしているつもりなのですが、考え方が育てようとするのと赤ちゃんの立場からは虐待になり得ます。

子育てを知らない人が多いのは、少子化で妹や弟、近所の子どもの世話をしたことがない人が増えしまつているからではないでしょうか。教育虐待も親はよかれと思つてやっているわけで、子育て全体が同じような状態にあるわけです。

昔は、小さい頃から身近な人が子育てをしているのを見ていたり、あるいは野菜や植物を育てたりしていましたよね。その中で、「育つ」というのがどういったことか自然に学んでいたのだと思ひます。

「文化」をいかに伝えるか

家庭における学びや教育の観点から文化や伝統の継承をどのように考えられますか。

また赤ちゃんの話になりますが、赤ちゃんは生まれてすぐの頃から、自分が生きていくために、社会はどのように動いてくれるかを模索しています。

どんな声で呼べば親が来てくれるのか、手足をバタバタさせて重力を感じるとか、さまざまな試行錯誤をし、それが遊びや学びと言われるものにつながっていきます。赤ちゃんの頃は、生きることに遊ぶこと、学ぶこと、生活することがほぼイコールなのです。そういった、区別のつかないものの中から次第に言葉を学習したり、社会のルールを学習したりしていきます。

エデュケーショナル・マルトリートメントとは、親を含む大人が子どもに対して教育やしつけのつもりで行う、子どもの心身や脳を傷つける行為のことで、教育虐待なども含まれます。

過度に期待し、子どもの人権を無視して勉強や習い事などを無理強いすることです。家庭内で起こるものですが、教育虐待を親だけのせいにして親を責めたところで、根本的な解決にはつながりません。「虐待」と呼ばれるまでに子どもに大きな期待をしてしまつ背景にあるものは何か。教育虐待が私たちの社会構造の中で起こっているのであれば、その社会に生きている私たち一人ひとりが責任を持つて、社会を変えていかなければいけません。

最近の子どもの悪影響を及ぼす親のことを「毒親」とも言われますが、そういった悪影響を及ぼす行為や価値観は、この社会の中で生まれているのです。親はそれぞれの価値観の中で精いっぱい子育てをしているつもりなのですが、考え方が育てようとするのと赤ちゃんの立場からは虐待になり得ます。

子どもの欲求に応えること

「子どもたちが、昔に比べておとなしくなつた」といった話を聞きますが、それは教育の効果によるものなのでしょうか。それとも、また別の原因があるのでしょうか。

赤ちゃんとその親が何人が集まつているひろばなどでは、赤ちゃんが興味を持つてハイハイで、他の子に近づこうとすると、ほとんどの親がぶつかつて避けて、後ろから止めます。

あるいは、おもちゃが1個しかない場合、別のおもちゃを与えて、取り合ひにならないようにします。本当は、そこで取り合ひをすることによって子どもたちは人との距離の取り方などを覚えていくので

している私たち一人ひとりには、どのように考えていけばいいのでしょうか。そうですね。生涯学習という言葉がありますが、生まれてから死ぬまで脳の発達が進まることがないわけですから、大人だつて学びます。その大人たちが楽しく学ぶ姿を、子どもたちに見せればいんだと思ひます。私は子どもたちに何か特別に教える必要はそんなにはないと思ひます。大人たちが楽しく学んで生きている姿を見せれば、自然と子どもたちもそれをやりたいくなるのではないのでしょうか。つまり、うらやましがらせばいいんです。私の友人が海外でボランティアをしていたのですが、その子どもたちにボランティアについてどう思うかを聞いてみたら、「父ちゃんがあまりにも土日に楽しそうにボランティアに行くんだもん。あんなに楽しいことを、どうして私たちにやらせてくれないのって思つて、中学生くらいから一緒にやるようになつた」と言っていました。



武田さんの講演会は全国各地で行われる

子どもたちが、「あめ」という単語を教つても興味がないし、意味もわからない。しかも「あめ」には雨と飴という二つの意味があるということも、普段の生活の中で聞いていたからわかることです。それは学びでもあり、遊びでもあり、そういうものなんです。だから、文化などの伝承も、日々の生活の中でまわりの大人の役割や言葉遣いといったものが、いつの間にか子どもに取り入れられているのだと思ひます。

何か教えるというよりも、日々の生活の中で自ずと感ずることこそが大切だと思ひます。教育つて、人の姿から学ぶことだと思ひます。大人たちが楽しく学んでいる姿を見せ、失敗してもそれをお互いに許し合ひ、支え合うような環境であることが大事なのではないかと思ひます。(一)

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念
紅地天人之図総手刺繍御打敷謹納

〒600-8159 京都市下京区烏丸通東本願寺前
TEL フリーダイヤル 0120-07-6391
FAX フリーダイヤル 0120-34-2816
https://shibata-houiten.com/ @SHIBATAHOUITEN

株式会社 柴田法衣店

東本願寺御用達
日下念珠店

〒600-8174 京都市下京区烏丸通花屋町下ル
電話 (075) 351-6325
FAX 0120-89-5255
定休日：日曜日

永田文昌堂 親鸞と現代

主に、阿彌陀如来と凡夫存在の不二の關係論、宗教多元時代における浄土教の脱構築の問題、核兵器の時代における「生老病死」宗教と現代学問、宗教と科学のあいだに関する課題、仏教思想とホッパイトヘッド哲学について考察する。

『浄土論』講讀 十二講
北塔光昇著 定価6000円(税込)
真宗教義の根幹を為すものが「浄土論」であり「論註」である。この書では、宗祖親鸞聖人が「論註」の多くを引かれた教行信証「証文類へ」の引用箇所を中心に、「浄土論」を解説する。

近刊
光を聞く(続) どう生き どう死ぬか
松塚豊茂著 定価2700円(税込)
仏教概念と現実を突き合わせて宗教一般、哲学的諸問題から信心、家庭、煩惱に至るまで至十二項目に分類し、後世に残した言葉や各々独立した短文で収録する。

〒600-8342 京都市下京区花屋町通西洞院西入 TEL 075-371-6651 FAX 075-351-9031

お子さまと参拝

LIVE 子ども報恩講のついで【御影堂】

23日(土) 11:45~15:00 (配信時間 12:20~13:00) 「正信偈」のお勤め・お話や楽しいレクリエーションを行います。



主な催し

子ども参拝案内所 [境内白洲] 23日(土)・24日(日)・28日(木) 9:00~16:00 ※28日のみ~12:00 子どもたちにに向けた両堂の参拝案内を実施。参拝記念品をお渡しします。工作や紙芝居、読み聞かせが楽しめます。



重要文化財で舌鼓

お齋 [大寝殿または表小書院] 22日(金)~28日(木) 11:40~/12:40~ ※25日は12:10~のみ 28日は12:40~のみ 報恩講のお齋(精進料理)をお召し上がりいただけます(全席椅子席)。

冥加金 お一人4,500円(当日、受付にてお納めください) 定員 各回120人(定員になり次第締切。事前にお申し込みください) ※大寝殿・表小書院へは、参拝接待所よりお入りください。 ※空席がある場合に限り、当日券を販売いたします。



味わう



令和6年能登半島地震復興支援事業

21日(木) 22日(金)

能登復興支援法座の能登節の夕べ [渉成園 関風亭] 19:00~20:30 能登教区の現況報告と、能登節の伝承者・廣陵兼純氏による節談説教で、能登の真宗風土の一端に触れてください。 (※要夜間特別維持寄付金大人1,000円以上)



「令和6年能登半島地震」災害救援本部の動き [境内白洲テント] 被災地の現状と宗派の支援活動をパネルでお伝えします。



知る・学ぶ

親鸞聖人の自筆と問近て!

見聞『教行信証』坂東本 一親鸞聖人から私たちにメッセージ [阿弥陀堂] 21日(木)~28日(木) 11:40~/12:40~ ※22・23・25・28日は12:40~のみ 『教行信証』坂東本(影印本)を展示し、教学研究職員が解説します。 ※1回15分。開催時刻までに阿弥陀堂内にお集まりください。 ※展示は、解説時に限ります。



重要文化財 手水屋形 修理現場公開

能登の食べ物をはじめとしたさまざまな物産が、東本願寺の門前に勢ぞろいします。買って食べて飲んで、能登の復興をぜひ応援ください。 [手水屋形] 21日(木)~27日(木) 11:30~13:00/15:00~16:30 修理中の手水屋形の様子を近くでご覧いただけます。 ※日程の都合により時間が変更となる場合があります。 ※修理工事用の足場となりますので、動きやすい服装と歩きやすい靴でお越しください。

LIVE 親鸞聖人讃仰講演会

【講師】 26日(火) 岩田 文昭氏(大阪教育大学名誉教授) 延塚 知道氏(大谷大学名誉教授) 27日(水) 石原 真衣氏(北海道大学准教授) 本多 弘之氏(親鸞仏教センター所長) 28日(木) 一楽 真氏(大谷大学学長) 池田 勇諦氏(同朋大学名誉教授)

庭園を見学する

夜間特別拝観「渉成園 秋灯り」 渉成園では、夜間ライトアップを実施しています。期間中はさまざまな出店やワークショップも。



夜の舟旅(有料・事前予約制) 【日時】期間中の毎週木・金・土 ※12/7を除く 18:00~/18:45~/ ※周遊時間約30分 19:30~/20:15~ 【参加費】6,000円 【定員】各回5人 非公開建物「関風亭」特別公開(申込不要) 【日時】期間中毎日 17:30~20:00 ※11/16・17・12/7・8を除く

「東本願寺の「音景」」 柳沢英輔氏トークイベント(無料・申込不要) 『同朋』で「東本願寺の「音景」」を連載中の柳沢英輔氏が、ゲストとともに「音」の魅力をお話し、渉成園や東本願寺境内をあらたに見つめ直します。 【日時】11月23日(土・祝) 17:30~19:00(予定) ▲詳しくは



この他にもさまざまな催しがありますので、詳しくは「報恩講特設サイト」をご覧ください。

基本日程 - 報恩講の1日 -

Table with 2 columns: Time and Event. Includes 6:50 晨朝法要, 9:30 日中集会(開式), 10:00 日中法要, 13:15 速夜集会(開式), 14:00 速夜法要.

報恩講について、詳しい情報は特設サイトをご覧ください。法要にあたり、木越渉宗務総長からのメッセージなどの動画も公開しています。

インターネットライブ配信のご案内 LIVE マークの法要ならびに催しをインターネットにてライブ配信します。ぜひご覧ください。 YouTube真宗大谷派 公式 検索

参拝事前申し込み受付中

事前にお申し込みいただいた方には、記念品として「東本願寺×SOU・SOU巾着ポーチ」をプレゼント!

お一人からでも! 申込期間 11月15日(金) 17:00まで 申込方法 ① 申込フォーム ② 電話 ③ FAX

21日(木)~27日(木) 帰敬式(おかみそり)

仏・法・僧の三宝に帰依することを誓い、仏弟子としての名告りを表す「法名」をいただく、生涯に一度の大切な儀式です。 礼金 お一人1万円(20歳以下お一人5,000円) 受式を希望される方は、当日9:00~9:30までに参拝接待所へお越しのうえお申し込みください。 ※職種選定法名での受式には事前申請が必要です。

LIVE 御正忌報恩講讃仰法要(音楽法要)

21日(木) 21日の初速夜に先立ち、作曲家の新美徳英氏により作曲された音楽法要曲を用いて、同朋唱和によりご参拝の皆さまとともにお勤めします。

25日(月) 御伝鈔

夕刻、親鸞聖人の御真影の前に、聖人の生涯を伝える『御伝鈔』(上・下巻)が拝読されます。

報恩講

2024年 11月21日(木)~28日(木)

「報恩講」は、浄土真宗の宗祖親鸞聖人の御命日(11月28日)を縁として勤まります。どなたでもお参りいただけますので、ぜひご参拝ください。



東本願寺・別院報恩講スタンプラリー

報恩講期間中、東本願寺境内白洲の総合受付にスタンプを設置し、台紙を配布します。また、全国各地の別院でもそれぞれの日程で報恩講が勤まります。ぜひ、東本願寺とお近くの別院の報恩講にご参拝いただき、記念スタンプを集めてください。

LIVE 祖徳讃嘆 廣瀬 惺氏

28日(木) 親鸞聖人の祥月命日である11月28日、聖人の恩徳を讃嘆し、その教えをいただく場として行われます。

LIVE 坂東曲

結願日中(御満座)に勤まる「坂東曲」は、僧侶たちが体を大きく振りながら、念仏と和讃を繰り返す力強い声明で、当派にのみ伝わります。



親鸞聖人がお念仏の教えを自分のところまで届けてくださった師として、生涯大切に仰がれた方々がいます。「七高僧」と呼ばれるインドの龍樹・天親、中国の曇鸞・道綽・善導、日本の源信・源空(法然)。そして「和国の教主」と仰がれた聖徳太子です。親鸞聖人は彼らからどんな「ひかり」を受け取られたのでしょうか。曇鸞について、3回にわたってたずねています。



ひかりを 伝えるひと

七高僧と聖徳太子

第11回

曇鸞大師



論主の一心と

とけるをば

曇鸞大師の

みことには

煩惱成就の

われらが

他力の信と

のべたまう

【高僧和讃】

『真宗聖典 第二版』五九四頁

【現代語訳】

天親菩薩が『浄土論』で説く「一心」ということについて

曇鸞大師の言葉にたずねると「煩惱成就の私たちにとっては他力の信ということだ」と述べておられる。

対機説法

ブツダの教えは、経典にまとめられて現代にまで伝えられています。しかし、経典を読めばすぐにブツダの真意がわかるわけではありません。そもそも、ブツダは相手に合わせて教えを説きました。人はそれぞれ性格や能力が違います。ブツダは相手に合わせて表現を変えたのです。これを「対機説法」といいます。逆に言えば、ブツダがその時に説法の相手とした人でなくては、説法の真意に達することは難しいということです。表現された言葉だけでは、その本来の趣旨を掴むことはなかなか難しいものがあります。

真実に触れた人による解説がなくては、ブツダの教えを正しく理解することはできません。

『浄土論』の再発見

ブツダの教えの一つである『無量寿経』は、何度か漢訳されるなど、かなりはやくから中国に紹介されてきました。しかし、その重要性はなかなか理解されませんでした。

『無量寿経』には、法蔵菩薩が阿彌陀仏に成る物語が描かれています。しかし、表面上の言葉を読むだけでは、荒唐無稽な昔話としか読めないかも知れません。

そのような中で、インドから中国にやって来た菩提流支が、天親菩薩の『浄土論』を漢訳しました。これは、『無量寿経』の注釈で、それまでには伝えられていなかった最新の教えでした。

曇鸞大師は、『浄土論』を読み、『無量寿経』に真実が表現されているのを見いだしました。そして、それを『浄土論註』に丁寧に説明したのです。

「他力」

曇鸞大師は、天親菩薩の「一心」という言葉に注目します。天親菩薩は、浄土をねがう「一心」には、阿彌陀仏からのひかりが届いていると指摘していました。

私たちが「一心」という言葉を用います。しかし、その場合は「他のことを考えずに集中する」という意味だけです。それは、私の執着の表れに過ぎません。ですから、天親菩薩の「一心」という言葉も、つい読み流してしまいがちです。

しかし、天親菩薩の言う「一心」は、煩惱成就の私が起こせるものではありません。阿彌陀仏のひかりのはたらきを承けて、私において起こるものです。曇鸞大師は、天親菩薩のこの指摘がきわめて重要であることに気づきます。そして、そのひかりのはたらきを、「他力」(私の外側からのはたらき)とあらためて表現しました。

親鸞聖人は、曇鸞大師による解説を承けて、『無量寿経』が「真実の教」であると確信したのでした。



わけみ あきら
采翠 晃

大谷大学文学部
仏教学科教授
京都教区近江第25西組
長光寺住職

大谷裕新門 能登半島地震被災地をお見舞い

お東さんガイド



8月5日から7日まで、大谷裕新門が能登半島地震被災地のお見舞いのため能登教区を訪れた。新門は、地震発生以降「実際に能登を訪れ現状を見て、寺院やご門徒と思いを共有したい」と願われていたことから、このたび初めての能登訪問となった。

5日は、蓮光寺(能登町)を訪れ、住職夫妻や門徒が出迎えた。住職の龍池洋教氏は「小さいものでもいいので、みんなで手を合わせられる場所を作りたいと話している」と本堂の再建を誓った。次に訪れた法性寺(穴水町)は、本堂が全壊し、7月に解体・撤去を終え、更

地となっていた。倒壊した本堂からはご本尊の右手のみ見つかった。坊守の河嶋崇子氏の「とてもさみしい」との言葉に、裕新門は声を詰まらせながら励ましの言葉をかけられた。

6日は勝安寺(珠洲市)の住職の梧光洋氏の案内で、地震発生から7カ月以上経った今も避難所で仮設住宅の入居を待つ門徒家族を訪ねた。本堂・庫裡合わせて7棟が被災した佛照寺(輪島市)では、道路寸断のため震災後1カ月以上にわたり孤立し、不安を抱えた中で過酷な避難生活を送られた経験について話を伺った。続いて輪島市の仮設住宅「宅田第一団地」を訪れた。この仮設住宅に暮らす人のほとんどは、大谷派の門徒であるという。集会所には、炊き出しのためたくさんの人が集まっていた。裕新門は、被災当時や今の状況など一人ひとり話を交えて対話された。

7日は正願寺(七尾市)を訪れ、お勤めの後、住職の聖川亮氏や門徒方と車座になって地震発生時や被害状況について話を聞き、語り合われた。

裕新門は能登訪問をふりかえって、「この3日間、「能登はやさしや土までも」の言葉を実感した。この思いを京都に持ち帰り、広く伝えたい」と語られた。

木越宗務総長、能登被災地で首長と面談

8月8日、木越宗務総長が石川県庁を訪れ、馳浩石川県知事と面談した。能登半島地震で被災した寺院・教会の公費解体の申請期限の延長等、今後の復興に向けた行政諸機関の柔軟な対応を要望した。

木越総長からは「殊に能登の真宗寺院は地域共同体そのものを支えてきた公性を持つものであり、県や各自治体とも情報共有をはかりつつ、各寺院・教会、そして地域社会の復興支援に最善を尽くしたい」と述べられ、馳知事からも「コミュニティの拠点としての寺院の役割は十分に承知しており、柔軟に対応したい」と応答がなされた。

その後、8月23日には地域のコミュニティの役割を果たしてきた寺社仏閣の再建等に最大1,200万円の復興基金による補助を行うことが石川県から発表された。

また、9月24日には志賀町及び穴水町の役場を訪問し、各町長と面談した。木越総長は、まず豪雨災害のお見舞いを申し上げ、続いて能登半島地震における公費解体申請期限延長の要望にお応えいただいた御礼と復興支援活動における行政との協力をあらためて要請した。志賀町の稲岡健太郎町長は「全国から集まる災害支援



写真左: 稲岡町長(志賀町)



写真左: 吉村町長(穴水町)

のスキル、経験を持った方々に支えられている」、穴水町の吉村光輝町長は「地域コミュニティの役割をもつお寺の復興が地域の再生につながる」とそれぞれ述べられた。総長は「宗門と行政が太いパイプをもって一緒に復興をやり遂げましょう」と力強く訴えた。

9月21日から22日にかけて石川県能登地方において発生した豪雨により被災された皆様に、衷心よりお見舞い申し上げます。

このたびの豪雨により、土砂崩れが発生し、坊守1人がお亡くなりになりました。また、本堂及び庫裡の床上・床下浸水や、能登半島地震により被災した建物からの雨漏り等の寺院被害の報告を約10カ寺から受けております(10月8日現在)。

宗派といたしましては、このたびの豪雨を能登半島地震からの一連の災害と受けとめて、能登半島地震の支援のために派遣している職員に加え、9月25日より追加の職員派遣を行い、現地のボランティア支援センターと連携して被災者支援を行ってまいります。



救援金を勧募しています

宗派では、「令和6年能登半島地震」に対する救援金を勧募しています。皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。



救援金口座	郵便振替口座番号 00920-3-203053
加入者名	真宗大谷派 ※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。
救援金総額	241,306,244円 (2024年10月7日現在)

逝去のお知らせ

野崎紘一 / 参議会議員、三重教区中勢1組浄願寺門徒。2024年9月12日逝去。79歳。2021年から2期にわたり参議会議員を務められた。

読者のお便り

今の僕にぴったりの言葉

岐阜県在住
男性(15歳)

「どうぼうしんぶんきつず」を毎回読んでいます。僕は真宗大谷派の保育園に通っています。保育園では、園長先生がよく親鸞聖人のお話をしてくださいました。阿弥陀様の紙芝居をしてくださったのが特に心に残っ

ています。僕は正信偈を読むことができませんが、それは保育園のおかげです。曾祖父が亡くなった時も、しっかりお勤めしてお別れすることができました。中学3年生になった今年は受験の年です。「君は明日どのようなことに出会うのだ

ろうか。君はどんな友達と出会うのだろうか。君はつらく悲しいことにも出会うかもしれない。立ちほだかる壁があれば懸命に挑戦するのでもいい」。僕にぴったりの言葉でした。『真宗児童聖典』はわかりやすい本ですね。ぜひ買って読んでみたいです。

お便り募集 『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。

宛先 Eメール/shuppan@higashihonganji.or.jp FAX/075-371-9211 先600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版『同朋新聞編集係』

住所・氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただく場合があります。

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 Tel.075-343-0458 Fax.075-371-0458

法蔵館

https://pub.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp 新刊メール配信中!
お買上16,500円(税込)以上送料無料 表示価格はすべて税込

●●報恩講特集●●

親鸞聖人のことば
村上速水・内藤知康著 一、六〇二円
聖人の多くの著述の中から特に重要な言葉50を選び教えるの真髓を解説。人生の指針のための座右の書。

門徒報恩講勸行集
東本願寺式務部(監修) 大谷派経典。門徒がお内仏で勤める唱和用。正信偈(草・真・念仏、和讃(三五等)振仮名付。二八六円

絵ものがたり 正信偈
ひかりになった王子さま
浅野執持(監修) 市角壮玄監

絵ものがたり 正信偈2
インドから中国へひかりを伝えたお坊さま
浅野執持(監修) 藤井智子・加藤正・麻田弘潤監
イメージをかきたてる絵と語りによって、「正信偈」に込められた親鸞聖人の願いの世界へと誘ってくれる絵本。2は龍樹菩薩、天親菩薩、曇鸞大師のストーリーを描く。一、四三〇円

まんが正信偈のおはなし
田中好三著 七人の高僧の教え
和田真雄(監修) 森村たつお(イラスト)
浄土真宗の家庭でもっともよく読まれるお勤めである「正信偈」の内容を、物語仕立の漫画にした話題の書。 七三三円

真実の道 歎異抄のことば
前田願海(監修) この出会いが、私を生かしてくれた——人の師を求め世界中を遍歴した末に、巡り合った恩師と「歎異抄」のことばに導かれた一生。 一、一〇〇円

新装版 和讃 仏教のポエジー
武石彰夫(監修) 宗教感情の結晶として高い文学性を持つ和讃。起源と発展を辿り、込められた詩情を解説。 一、九八〇円

歎異抄を読む
今、念仏に生きる意味を問う
田中好三著 国語の教員として長年勤めてきた著者が、人間の本质を鋭く見抜いた親鸞に惹かれ、古典文学の枠を超えた「歎異抄」の魅力を超える。一、四三〇円

法蔵館文庫 創刊5周年

涅槃経入門 新刊
横超慧日(監修) 下田正弘(解説) 一、三三〇円
「涅槃経」の成立過程や思想内容をわかりやすく解説した好著。日本の仏教にも多大なる影響を与えた「涅槃経」の真髓とは何か。

仏教について 新刊
西谷啓治(監修) 氣多雅子(解説) 一、三三〇円
宗教哲学的思索の土台の上で、広く深い視野から現代世界において仏教が抱える問題をやさしい言葉でわかりやすく語った講演の記録。

法城を護る人々 近刊
松岡 謙(監修) 上・中・下
①野房はるひ ②真継伸彦・大澤絢子
③半藤末利子(監修) 各一、二〇〇円
痛烈な教団批判と煩悶青年の葛藤を思わせる迫力で描く、松岡謙の代表作にして自伝的小説、待望の復刊!

ご案内

真宗本廟

開門・閉門時間/3月~10月:5時50分~17時30分
11月~2月:6時20分~16時30分

晨朝(おあさじ)

【場所】阿弥陀堂及び御影堂
【時間】毎日7時~

晨朝法話

【場所】御影堂
【時間】毎日7時30分頃~

真宗本廟法話

【場所】視聴覚ホール・御影堂・参拝接待所仏間
【時間】通常 10時10分~/13時10分~
速夜日(12・27日) 13時10分~
御命日(28日) 9時30分~
※その他、時間・会場を変更する場合があります。

参拝接待所ギャラリー

【時間】9時~16時
「親鸞聖人の御生涯」(常設展)開催中

詳しくは → [東本願寺](#) [検索](#)



しんらん交流館

真宗本廟(東本願寺)へご参拝の際には、ぜひお立ち寄りください。
開館時間/9時~17時
休館日/毎週火曜日、11月29日

11月の定例法話

【時間】毎日14時~(12日は10時~)
※休館日、19日~29日は休会。
その他、都合により休会する場合があります。

11月の東本願寺日曜講演

【時間】9時30分~11時
【講師】11月10日 岩田 真美氏 (大阪大谷大学教授)
11月17日 名和 達宣氏 (教学研究所所員)

交流ギャラリー

「東本願寺の今昔」展 開催中

詳しくは → [浄土真宗ドットインフォ](#) [検索](#)



2024年度 真宗本廟奉仕に参加してみませんか

真宗本廟奉仕を機にぜひ帰敬式を受式ください

おみがき奉仕団

春の法要を迎えるにあたって、真宗本廟内の仏具のおみがきを中心とした奉仕団です。

2泊 2025年 3月2日(日)~4日(火)
1泊 2025年 3月2日(日)~3日(月)

春の法要奉仕団

宗祖親鸞聖人の御誕生を縁とした親鸞聖人御誕生会(音楽法要)や全戦没者追弔法会等の「春の法要参拝」を中心とした奉仕団です。

2泊 2025年 4月1日(火)~3日(木)
1泊 2025年 4月1日(火)~2日(水)

【参加費】(2泊3日)18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円
(1泊2日)13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円
※上記は大人(15歳以上)の場合です。

※申込締切は各入館日の40日前です。

お申し込み・お問い合わせ 同朋会館・研修部 TEL:075-371-9185



入館中はお仲間や他団体の方々とカフェ(無料)でほっこり!

今月号の『同朋新聞』を読んで、クロスワードパズルを完成させよう!

プレゼント付

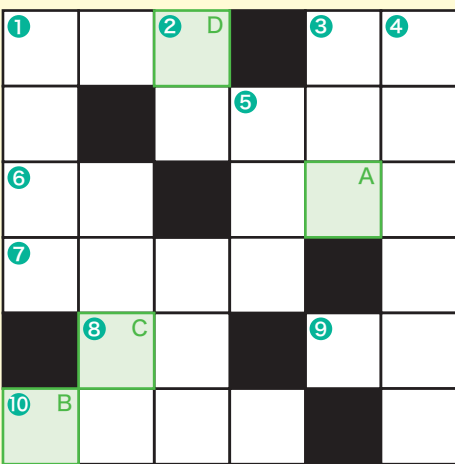
「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、クロスワードパズルを完成させましょう! 11月号の『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!

タテのカギ

- 両堂の紫幕や門前の提灯台などの荘厳は、〇〇〇〇の法被を身に着けた七日講と呼ばれる、お講組織の方々により設置されます。(1面)
- 「ご案内」おみがき〇〇う仕団とは、春の法要を迎えるにあたって、真宗本廟内の仏具のおみがきを中心とした奉仕団です。(8面)
- 「人間といういのちの相」今月のタイトルは「社会の中で「子ども」は〇〇〇」です。(2・3面)
- 今月の写真は、「真宗本廟〇〇〇〇〇〇が動きます」です。(1面)
- 「読者のお便り」今月のタイトルは「〇〇〇僕にぴったりな言葉」です。(7面)

ヨコのカギ

- 「特集」報恩講の〇〇〇(精進料理)を、お召し上がりいただけます。(4・5面)
- あなたのお悩みお聞きします 東本願寺いのちのここ〇〇相談室 (6面枠下)
- 「特集」帰敬式は、仏・法・僧の三宝に帰依することを誓い、仏弟子としての名告りを表す「法名」をいただく、生涯に〇〇〇〇大切な儀式です。(4・5面)
- 「特集」結願日中に勤まる「坂東〇〇」は、僧侶たちが体を大きく振りながら、念仏と和讃を繰り返す力強い声明で、当派にのみ伝わります。(4・5面)
- 真宗本廟奉仕に参加しましょう 一言葉では説明できない「場の力」が〇〇にある(7面枠下)
- 「ひかりを伝えたひと」今月の和讃は「論主の一心ととけるをば 曇鸞大師のみことには 煩惱成就の〇〇〇〇 他力の信とのべたまう」です。(6面)



9月号のクロスワードパズルの答えは、

ま
つ
よ
い

答え

※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。

読者のこえ

8月号を
読んで

- ◆「2024年度宗派の予算」がわかりやすく書かれていて、今まで何気なく納めていた寺への懇志についても納得できる点がありました。(富山県80代)
- ◆毎月の『同朋新聞』のクロスワードパズルが楽しいです。これからも楽しみにしています。(秋田県10歳未満)

チャレンジ!

正解者の中から抽選で3名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1,000円分」、2名様に月刊『同朋』をプレゼントします!

郵便はがきまたはメールにて、①「クロスワードパズルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を添えて、下記までご応募ください。今月号の締め切りは12月10日(火)(当日消印有効)です。

宛先 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版 「クロスワードパズル係」まで

メールでも応募できます!

はがきと同様に必ず上記①②③を記入し、「件名」に「同朋新聞11月号クロスワード応募」と入力の上 higashihonganji-shuppan@gmail.comへお送りください。



〈ご注意〉◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。◆個人情報(住所)はプレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。◆感想は「読者のお便り」や「読者のこえ」に掲載する場合があります。◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。



◆いよいよ今年も真宗本廟報恩講が動きます(1・4・5面)。今回は、1月の令和6年能登半島地震を受け、期間中、復興支援事業を開催いたします。門前では、能登の海産物や地酒、お菓子、伝統工芸品などの物産市が開かれ、能登の特産品をお楽しみいただけます。

また、今回新たに「東本願寺・別院報恩講スタンプラリー」を開催します。スタンプラリーの台紙には全国の別院の報恩講の日程が載っておりますので、東本願寺はもちろん、お近くの別院の報恩講へもぜひお参りください。(古賀)

東本願寺出版 おすすめ本

ご注文・お問い合わせは



TEL 075-371-9189 FAX 075-371-9211

詳しい書籍情報は

[東本願寺出版](#) [検索](#)

LINE アカウントを開設しました!



@469jqkzt



生きることも死ぬことも、丸ごと「私の人生」といただけますか...?

南無阿弥陀仏(本願)の教えに生き、死を受け入れていくとはどのようなことなのか。著者の父や師、郷里の念仏者たちとの出会い、そして妻の看病と別れの中で交わされた言葉をとおして尋ねる。

伝道ボックス90 生も死も引き受けて — 南無阿弥陀仏のいのちに生きる — **新刊**
延塚 知道 著 新書判 80頁/定価:330円(税込)

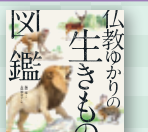


煩悩百八面相

梶 哲也 著/絵:今村 風子 文庫判 120頁/定価:770円(税込) **新刊**

仏教ゆかりの生きもの図鑑

文:福田 琢/絵:大島 加奈子 B5変形判 80頁/定価:1,210円(税込) **オールカラー**



歎異抄に何を学ぶのか

宮城 顕 著 はじめての仏教講座 **ブツから親鸞へ** 木越 康 著

好評発売中 真宗聖典

第二版



大判 定価 4,950円(税込) 小判 定価 4,400円(税込)